

湖南省スポーツ推進計画

ずっとここに暮らしたい！

スポーツで“つなぐ”
きらめき湖南



平成 26 年(2014 年)12 月

湖南省教育委員会

湖南省スポーツ推進計画 概要

湖南省総合計画 (まちの将来像)

ずっとここに暮らしたい！
みんなで創ろう きらめき湖南

スポーツ基本法

スポーツを通じて幸福で豊かな
生活を営むことはすべての
人々の権利
【 8つの基本理念 】

目指す未来

ずっとここに暮らしたい！
スポーツでつなぐ きらめき湖南

基本的な目標

自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、
だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな
未来を創る

基本方針

① 気楽につなぐ！
ライフステージに
応じた体と心を癒す
スポーツ活動の継続

④ 笑顔でつなぐ！
湖南省の特性を
活かしたスポーツ推進

② 感動でつなぐ！
子どものスポーツ機会
の充実

③ 地域でつなぐ！
いつでも、どこでも、
だれでも
親しむことができる
スポーツ環境の充実

計画の期間

平成26年度(2014年度)から概ね5年間

スポーツ推進の具体的展開

基本方針

気楽につなぐ！
ライフステージ
に応じた体と心
を癒すスポーツ
活動の継続

感動につなぐ！
子どものスポー
ツ機会の充実

地域につなぐ！
いつでも、どこ
でも、だれでも親し
むことができる
スポーツ環境の
充実

笑顔につなぐ！
湖南省の特性を
活かしたスポー
ツの推進

展開方策

だれでも気軽にできるスポーツ機会の充実

年齢・体力に応じたスポーツの推進

女性のスポーツ参加の推進

幼児期の運動・学校体育の充実

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラ
ブへの参加の推進

長期的な視点でのジュニアアスリートの育
成

大学・地域・スポーツ団体の協働の推進

スポーツ施設、学校体育施設の充実と有効
活用

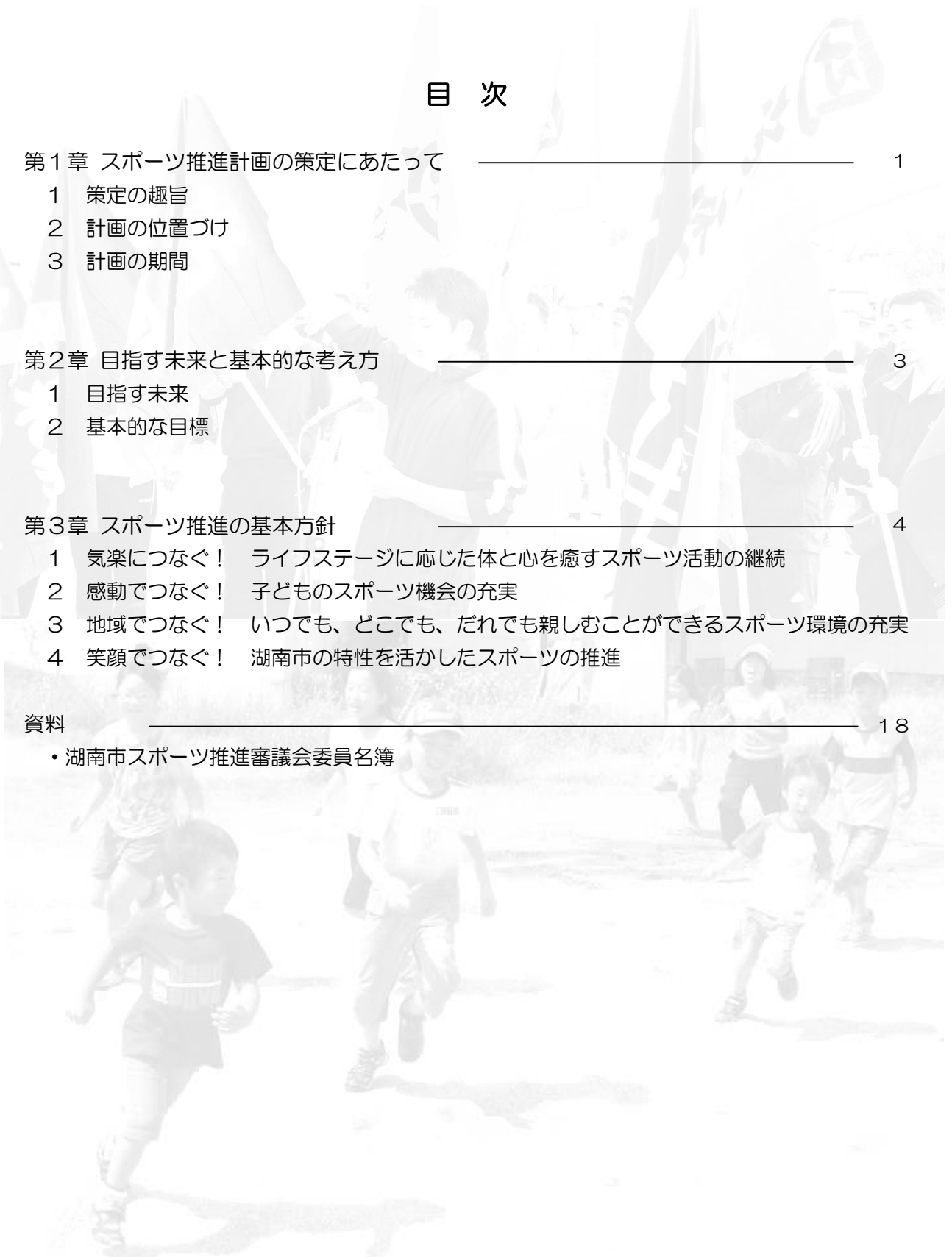
総合型地域スポーツクラブの拡大・充実

自然、歴史、文化、地域福祉を活かしたス
ポーツの推進

湖南省の隠れた人材の発掘と活用

目次

第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって	1
1 策定の趣旨	
2 計画の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 目指す未来と基本的な考え方	3
1 目指す未来	
2 基本的な目標	
第3章 スポーツ推進の基本方針	4
1 気楽につなぐ！ ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ活動の継続	
2 感動でつなぐ！ 子どものスポーツ機会の充実	
3 地域でつなぐ！ いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実	
4 笑顔でつなぐ！ 湖南省の特性を活かしたスポーツの推進	
資料	18
・湖南省スポーツ推進審議会委員名簿	



第1章 スポーツ推進計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

国においては、50年ぶりにスポーツ振興法が全面改正され、平成23年（2011年）8月に「スポーツ基本法（以下、「基本法」という。）」が施行されました。

基本法では「スポーツは、世界共通の人類の文化である」「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」「日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」などの基本理念を定め、国および地方公共団体の責務ならびにスポーツ団体をはじめとする関係者の連携と協働により、その理念の実現を図ることとしました。

また、平成32年（2020年）の第32回夏季オリンピック・パラリンピックの東京での開催が決定し、全国的なスポーツへの関心が期待されています。

一方、滋賀県においても平成24年（2012年）3月に滋賀県スポーツ推進審議会を立ち上げ、「滋賀県スポーツ推進計画のあり方について」を答申し、スポーツをめぐる状況に適切に対応するため、スポーツ推進の5つの基本的方向性を示す「滋賀県スポーツ推進計画」が策定されました。また、平成36年（2024年）には第79回国民体育大会（以下、「国体」という。）が滋賀県で開催される予定で、環境整備を含めた県内のスポーツへの取組が注目されています。

このため、湖南市でも社会情勢やライフスタイルの変化など、スポーツを取り巻く環境の変化に対応したスポーツ推進の取組が求められています。このような状況を踏まえ、現状と課題を把握したうえで、本市の目指すスポーツ施策の基本理念、方向性を明らかにし、その実現に向けた施策を優先的かつ計画的に進めていくため、「湖南市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけ

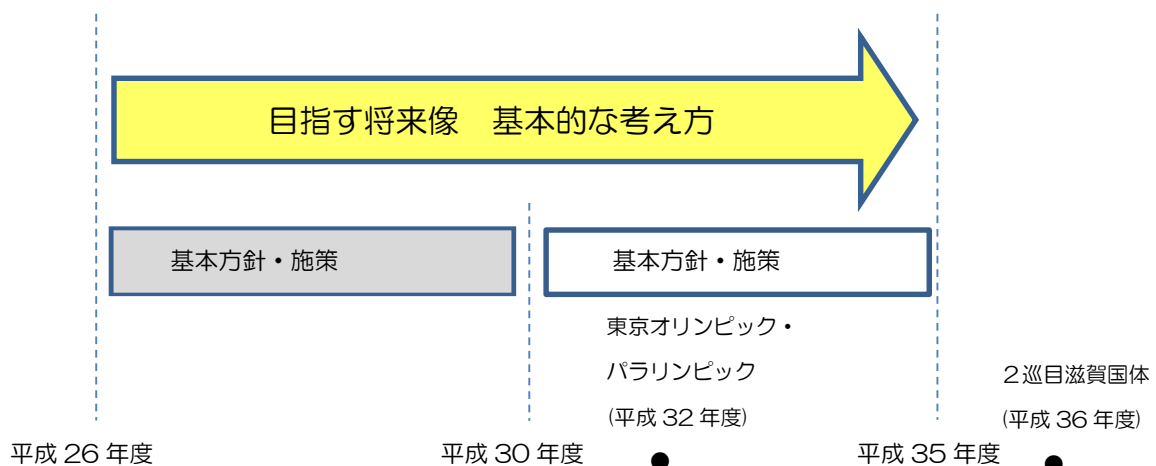
本計画は、スポーツ基本法第10条に明記される「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする」に基づく計画です。

なお、湖南省総合計画ならびに湖南省教育振興基本計画をはじめ、湖南省地域福祉計画、湖南省障がい者の支援に関する基本計画、健康こなん21計画・食育推進計画などの関連計画を踏まえ、今後の本市スポーツの目指す姿に向けて、事業を進めるうえでの方向性や取り組むべき施策を示しています。

3 計画の期間

本計画は、平成26年度から10年間の基本的な目標と方針に基づき、概ね5年間にわたる計画とします。

なお、概ね5年経過後については、その時点での進捗状況や社会情勢の変化に応じて見直すこととします。



第2章 目指す未来と基本的な目標

1 目指す未来

ずっとここに暮らしたい！

スポーツでつなぐ きらめき湖南

湖南省ではまちの将来像である「ずっとここに暮らしたい！ みんなで創ろう きらめき湖南（湖南省総合計画）」のもと、スポーツを通じて市民の健康の保持増進や余暇活動の充実を図るとともに、地域のつながりや感動を分かち合えるような暮らしや環境を築く「ずっとここに暮らしたい！ スポーツでつなぐ きらめき湖南」の実現に向けて推進します。

2 基本的な目標

スポーツ基本法の理念、湖南省総合計画および湖南省教育振興基本計画等を踏まえ、「自立と協働を通じて、いつでも、どこでも、だれでもスポーツを楽しみ、いきいきと健康で豊かな未来を創る」ことを本市のスポーツ推進の基本的な目標とします。

第3章 スポーツ推進の基本方針

基本方針 1 気楽につなぐ！

ライフステージに応じた体と心を癒す
スポーツ活動の継続

現状と課題

(1) 成人の運動・スポーツ実施状況について

- 「週1日以上」の定期的な運動・スポーツ活動を実施している割合は42.8%で、滋賀県平均45.2%（平成25年度）、全国平均47.5%（平成24年度調査）と比べてやや低い状況です。
- 実施しているスポーツについては、最も多いのは「ウォーキング」で男女とも3割を超え、ジョギングやマラソン、体操など軽い運動・スポーツの人気の高いと言えます。また、運動・スポーツを行った理由を見ると、「健康の保持増進」「体力の向上」「趣味・楽しみのため」の回答がとくに多くなっています。
これらのことから、健康増進やリラックスを目的とした「ウォーキング」などの軽い運動・スポーツを実施している人が多い傾向がうかがえます。

.....

(2) 年代別の運動・スポーツ状況について

- 運動・スポーツの週1回以上の実施状況を年代別で見ると60歳、70歳代の実施率が高いのに比べて、20歳代～50歳代の実施率が低くなっています。とくに、男性は30歳、50歳代の運動・スポーツ実施率が低くなっています。
- 今後、運動・スポーツをしてみたい割合は、実施率の低かった30歳代が68.0%と最も高く、60歳代においても64.0%と高くなっています。運動・スポーツの実施に対するニーズや欲求があるにもかかわらず実現できていないことから、参加できる機会や環境を整えることが課題と考えられます。

(3) 女性の運動・スポーツ状況について

- 週1回以上の運動・スポーツ実施率を世代別に見てみると、30歳代の実施率が低く、性別では、女性の実施率41.6%が他の男性の実施率44.6%に比べてやや低くなっています。また「今後運動をしてみたい」と回答している女性は半数以上で、男性よりも高くなっています。

展開方策

1 だれでも気軽にできるスポーツ機会の充実

競い合うことだけがスポーツではなく、より多くの市民が健康保持づくり、日頃のストレス解消や仲間づくりなど、目的に応じて、いつでもスポーツを日常的に感じ親しみ、自

.....

らスポーツをやりたいときに気軽にできるようなスポーツ機会の充実が重要です。ジョギングや体操、ヨガなど自らがいつでもおこない、リラックスできるスポーツの推進や障がいのある人も気軽に参加できるイベントの提供や支援の推進、さらにはボランティアとして支えるなどスポーツに携わる様々な機会づくりを推進します。

- リラックスできるスポーツの推進
- 気軽に参加、参画できる機会づくりの提供
- いつでもできるスポーツの推進



2 年齢・体力に応じたスポーツの推進

社会環境や家庭環境、地域との関係性も大きく変化し、スポーツに対する個人それぞれの考え方の多様化により、同じ年代であっても健康増進や競技力の向上など市民のニーズは様々です。多様化したニーズに対応できるようなプログラムの提供や高齢化が進む中、生きがいのある生活を創り出すために、生涯にわたり運動・スポーツを習慣化することが重要です。楽しみながらの適度な運動の推進や健康づくりに欠かせない栄養面や生活習慣からのサポート、多種目を体験できる総合型地域スポーツクラブを活用したスポーツ活動や体力づくりを促進します。

- 年齢・体力に合わせたプログラムの提供
- 運動・スポーツ活動の習慣化の推進
- 健康づくりの推進、いきいき百歳体操の促進



いきいき百歳体操

3 女性のスポーツ参加の推進

女性の定期的な運動・スポーツ活動を実施している割合は、男性よりも低くなっています。しかし、運動・スポーツ活動にはやや関心があり、とくに子育て世代の30歳代では高い関心があります。

女性のスポーツ参加は、地域や子どもたちのスポーツの活性化につながり、女性が参加しやすい環境づくりに取組むことが重要です。

親子や仲間に参加できるスポーツ機会の充実や女性指導者の育成、あるいは初めてスポーツに参加する人にもできるスポーツの提供を推進するなど、積極的なスポーツ情報の発信に努めます。

- 親子や仲間に参加できるスポーツ機会の充実
- 女性の指導者等、人材の育成
- 積極的なスポーツ情報の発信



親子ふれあい活動



湖南省健康マラソン大会

指 標

成人の週1回以上のスポーツ実施率

(平成23年度)

(平成30年度)

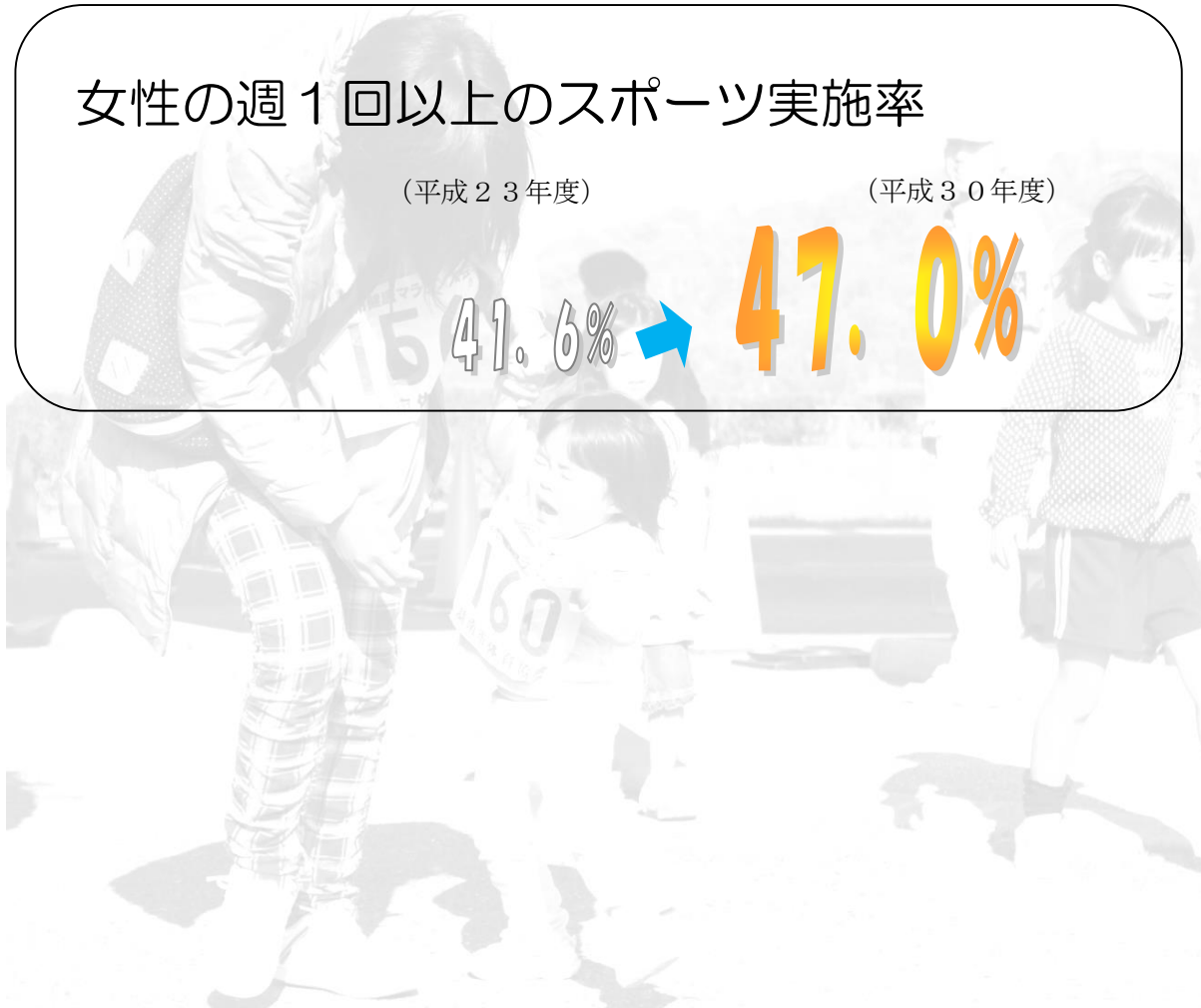
42.8% → 47.5%

女性の週1回以上のスポーツ実施率

(平成23年度)

(平成30年度)

41.6% → 47.0%



基本方針 2 **感動でつなぐ！**

子どものスポーツ機会の充実

現状と課題

(1) 子どもの体力・運動能力について

- 本市の小学生の体力・運動能力は滋賀県の平均値とほぼ同じで、全国平均値よりも低くなっています。とくに男子よりも女子の運動能力が低くなっています。幼少期に運動全般の基本的な動きを身につけることができるような運動や遊び活動の取組が重要です。また、健康なこころとからだを作るためにはより良い食習慣や生活習慣を身につけることが重要です。

(2) スポーツ少年団の加入について

- 少子化により子どもの数が減少する中、地域における青少年のスポーツ環境であるスポーツ少年団においても、年々団員数、加入率もとに減少傾向にあります。
また、本市のスポーツ少年団における指導者有資格率は 97.8%（平成25年9月末現在）で、これは全国平均 58.1%、滋賀県平均 55.8%に比べ非常に高く指導者としての意識の高さがうかがえます。

展開方策

1 幼児期の運動・学校体育の充実

子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。この幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、そこで生涯における豊かなスポーツライフを実現するための基礎となる学校体育においても取組内容の充実や地域、スポーツ団体との連携、健康づくりに努めます。

- 親子で参加できるスポーツ機会づくり
- 地域、スポーツ団体、大学等との連携
(スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ」など)
- 「健康こなん21計画・食育推進計画」に基づく健康づくりや食育の推進



スポーツ少年団女性会議
子どもの成長に合わせた料理作り

2 スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ」への参加の促進

スポーツ活動はからだだけではなく、こころの健やかな成長にも大きな役割を果たしています。

スポーツ少年団ではスポーツ活動だけではなく、スポーツを通じてある程度の競争力や協力すること、相手をいたわることの大切さ、自ら考えて行動する能力などを習得することができ、個人として、チームとして目標に向かって努力し感動を味わうことができます。

また、総合型地域スポーツクラブの「ちょいスポクラブ（キッズクラブ）」では地域住民が主体的に運営し、複数の種目のスポーツが経験できる地域スポーツクラブとして運動離れの子ども達にとって大きな役割を果たしています。

このような子どもの運動・スポーツ離れを解消できるスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ（キッズクラブ）」の充実や加入の促進をします。

- 競技力+ α を習得できる魅力のPR
（協調性、自主性、コミュニケーション能力、地域の連携など）
- 多様なスポーツを体験できる機会の提供
- 正しい知識を持った指導者の育成



スポーツ少年団入団体験



湖南市ちょいスポクラブキンボール大会

3 長期的な視点でのジュニア・アスリートの育成

将来スポーツで活躍することで感動や勇気を与えられるような選手を育てることは、競技力の向上だけでなくスポーツ人口の増加や地域の活性化を生み出します。そのため、平成36年（2024年）滋賀県で開催される国体や全国障害者スポーツ大会で活躍できるよう、スポーツのすばらしさを伝えるとともに、指導者の育成や一貫教育体制、大学等と連携し現役アスリートからの指導など長期的な視点でジュニア・アスリートの育成を推進します。

- 各スポーツ団体間で連携した一貫教育体制の推進
- トップアスリートや高いレベルの指導者によるスポーツ教室や講演会の実施



湖南市スポーツ少年団フェスティバル
(スポーツ少年団と近隣大学との交流)

指 標

スポーツ少年団の入団率

(平成25年度)

(平成30年度)

27.3%



30.0%



基本方針 3 **地域でつなぐ！**

いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実

現状と課題

(1) スポーツイベントの参加状況について

- 本市の主催事業である「湖南市民スポーツカーニバル」の認知度は約6割ですが、過去2年間において参加したことがある人は、男子 23.4%、女子 11.8%となっています。そのほかのスポーツイベントについても、認知度に比べ参加者は少なくなっています。
- 参加したいと思う講座・行事・イベントについては、だれでも気軽に参加できるスポーツイベントや健康づくりのための講座に高い関心があります。家庭環境や地域のつながりも変化してきているなかで、スポーツに対して競技としてだけでなくニーズに合わせたスポーツの提供が課題となっています。

(2) 公共スポーツ施設の利用実態について

- 湖南市内にある公共スポーツ施設について、過去1年間に6割以上の人が利用され

.....

ていません。また、休日の利用は多いが平日の利用は非常に少なくなっています。

さらに、施設数は少なくありませんが老朽化した施設も多く、安全性も考慮した計画的な修繕が必要です。

展開方策

1 地域、スポーツ団体、大学等の協働の推進

地域の活性化やスポーツ振興に関わる様々な団体が、スポーツを通じてつながり、協働し、連携することが青少年の健全育成や高齢者の健康づくりを促進させ、活気あふれるまちづくりに貢献することが期待されます。

そのため、地域や各スポーツ団体、近隣の大学等が連携し、高度な人材やスポーツに関する幅広い知識、各スポーツ団体からの情報提供など様々な資源を最大限に活用し連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組みます。

- スポーツ推進委員による積極的な地域スポーツのコーディネート
- 大学からの指導者の派遣や協働事業の開催
- 地域と湖南省体育協会などスポーツ団体が連携・協働したイベントの開催



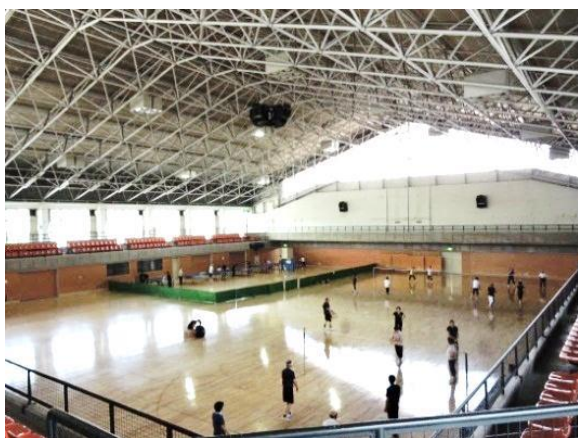
湖南省スポーツ推進委員事業

2 スポーツ施設、学校体育施設の充実と有効活用

本市には野洲川親水公園や希望ヶ丘文化公園など、子どもたちや働く人たち、地域住民のスポーツ活動にとってスポーツを身近に感じ親しむためのスポーツ施設や学校体育施設があり、重要な役割を果たしています。

そこで、このような施設を活用し、スポーツに関する様々な情報の収集や発信、地域のつながりを実感できる環境づくりに取り組みます。また平成 36 年(2024 年)の滋賀国体や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、安全でだれでもが利用しやすい施設をめざし、効率的な利用の促進や計画的な施設の改修に努めます。

- 地域と協働で行うスポーツ施設の整備
- 学校施設開放事業の推進



湖南省総合体育館

3 総合型地域スポーツクラブの拡大・充実

本市の総合型地域スポーツクラブ「ちょいスポクラブ」は年々会員数が増加し、さまざまな種目のスポーツを気軽に楽しむことができます。高齢者にとっては地域の交流の場にもなり、子どもたちにとってはスポーツを始めるきっかけづくりになるなど、その意義は高まってきています。

今後も地域のニーズに合ったより充実したプログラムの提供や運営スタッフの充実、指導者の育成を重視しながら、地域スポーツの重要な役割を果たすクラブの育成に努めます。

- 指導者、運営スタッフの育成
- ちょいスポクラブの積極的なPR、イベントの情報発信



湖南市ちょいスポクラブ

指 標

総合型地域スポーツクラブの会員数

(平成25年度)

(平成30年度)

289人 → 400人



基本方針 4 **笑顔でつなぐ！**

湖南省の特性を活かしたスポーツの推進

現状と課題

(1) 湖南省の特性

- 野洲川は本市の自然環境の大きな特徴となっており、河川敷は市民に憩いの空間をもたらしています。市の南北には阿星山、岩根山系の豊かな森林が広がり、さらに田園風景も多く見られます。
また、湖南三山の常楽寺、長寿寺、善水寺や東海道五十三次の宿場の名残をはじめ、多くの歴史文化遺産が点在しています。
- 本市においては昭和 30 年代に障がい者施設が整備され、滋賀県はもとより全国的にも最も早い福祉のまちづくりが進められ、近年においても先進的な福祉施策が進められています。
- 本市は、平成 2 年（1990 年）より外国人の転入者が増加し、平成 25 年末（2013 年末）現在においては外国人比率が県内市町で最も高いまちとなっています。

展開方策

1 自然、歴史、文化、地域福祉を活かしたスポーツの促進

野洲川を中心とした豊かな自然や常楽寺、長寿寺、善水寺の湖南三山をはじめとする数多くの歴史遺産、近江下田焼や近江木綿正藍染めの伝統工芸、また湖南市ならではの食文化など湖南市の特性を活かし、各種団体とも連携しながら地域が元気になる取組を推進します。

また、障がいがあっても自分に応じた方法で自己実現を果たせるよう各種スポーツの活動機会の確保や支援を充実していきます。

さらに、文化とスポーツ、人と人とのつながりを活かしながら、健康保持とともに湖南市の魅力にふれ、誇りを持てるような取組や湖南市を広くにアピールするようなイベントを推進します。

- 地域の観光とスポーツを組み合わせた「スポーツツーリズム」の展開
- 障がい者スポーツ団体との連携、障がいのある人のスポーツイベントへの支援



日本語教室交流事業



下田泥リンピック

2 湖南省の隠れた人材の発掘と活用

自然、歴史、文化だけではなく、元アスリートやスポーツ少年団の出身者などスポーツに関心のある人材も湖南省の大切な財産です。

湖南省で育ったアスリートや今ではスポーツ活動や指導から遠ざかっている優れた人材を、うまく活かせるような環境づくりに取り組みます。

また、多文化共生の地域づくりとして、外国籍の方をはじめ日本以外の多様な文化を知る人材を活かし、スポーツを通じた交流をおこない、互いの文化を理解できるような笑顔あふれるまちづくりを推進します。

- スポーツ指導者の育成・活用、スポーツボランティアの養成
- スポーツの交流をととしたイベントの開催

指 標

スポーツを通じた交流

**障がいのある人とない人がともに
集えるスポーツイベントの開催**

湖南省スポーツ推進審議会委員

平成 25 年度

藤田 聡 (立命館大学スポーツ健康科学部教授)
小川 司 (湖南省立下田小学校教諭)
西山 克哉 (ロンドンパラリンピック セーリング代表)
青木 静江 (湖南省健康推進員協議会 会長)
福島 康男 (湖南省体育協会 理事長)
原田 孝 (湖南省スポーツ少年団)
坂尾 こみな (湖南省スポーツ推進委員)
今村 富子 (湖南省ちよいスポクラブ)
山下 秀文 (湖南省体育協会常任理事) (湖南省スポーツ推進委員)

アドバイザー

呉竹 政彦 (滋賀県教育委員会事務局 スポーツ健康課)
